



ご使用上のご注意(はじめにお読みください)



ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について



 **警告**
小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


■アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

- 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
 - 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
 - 指定された電池を使用してください。
 - 使い切った電池は速やかに取り出してください。
 - 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
 - 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
 - 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落とすことから入れてください。

 **注意**
 **分解禁止**
分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 **注意**
時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

- 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
 - 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
 - 浴室など、湿気の多い所。
 - ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。)
 - テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 - 温泉場など、ガスの発生する所。
 - 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
 - プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落しに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

主な製品仕様

■自動受信時刻修正機能について

受信回数………1日12回

※受信中は電波を受ける関係で、秒針の動きが不規則になることがあります。

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示誤差(受信直後) 秒針 ±1秒以内 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒 (常温でのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10℃~+50℃
アラーム音	ベル音
アラーム精度	セット時刻に対して±0秒
使用電池	単3形アルカリ乾電池(JIS規格LR6) 4個
電池寿命	約1年間 アラーム:30秒/日 照明:6秒/日 (アラーム音量 最大)
その他	電波受信ON/OFF機能、電波受信確認音機能 ベル音量調節、スヌーズ、アラームオートストップ アラーム音モニター、文字板面照明、電池の交換時期お知らせ

- 時計に付いている電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
- 電池寿命は、電波を正常に受信して1日7時間秒針が停止しているときのものです。(アラームスイッチが7時間ON状態)
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■付属品

単3形アルカリ乾電池	4個
取扱説明書	本書
保証書	1枚

Q&A こんなときには

- ①時針・分針・秒針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになる。
 - 電池の残量が少なくなると、誤作動の原因になります。特に、強制受信ボタンを押したとき、あるいは自動受信したときに発生しやすくなります。このような場合は、新しい電池と交換してください。

- ②電波受信ができなくても、設定した時刻にアラームは鳴るか？
 - 電波受信ができなくても、クォーツ精度で動いていますので、設定した時刻に鳴ります。

- ③今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
 - 近くにノイズの発生源がある可能性があります。場所を変えて受信できるか試してください。
 - 送信所の定期点検や落雷などにより停波(停止)する場合があります。停波についての情報は情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

- ④海外で使えるか？
 - 日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用すると、まれに日本の標準電波を受信して日本の時刻を表示したり、誤受信により誤表示することがありますので、電波受信スイッチをOFFにしてご使用ください。
 - ☞「7.電波受信機能のON/OFF操作」参照
 - ☞「5.電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」参照

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



※受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

電波時計について

電波時計とは

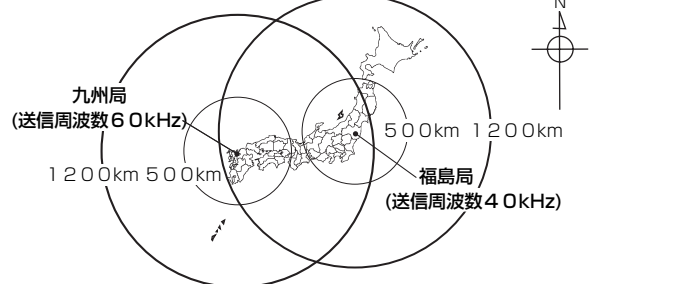
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

条件のよいときは送信所から約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

CITIZEN®

電波時計 (ベル音目覚まし時計) 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に合わせます

アラームは合わせた時刻にピッタリと鳴ります
(ジャストアラーム)

アラーム音量が調節できます

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 E191-CXXZ

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計裏面等に表示してある製品番号をお伝えください。

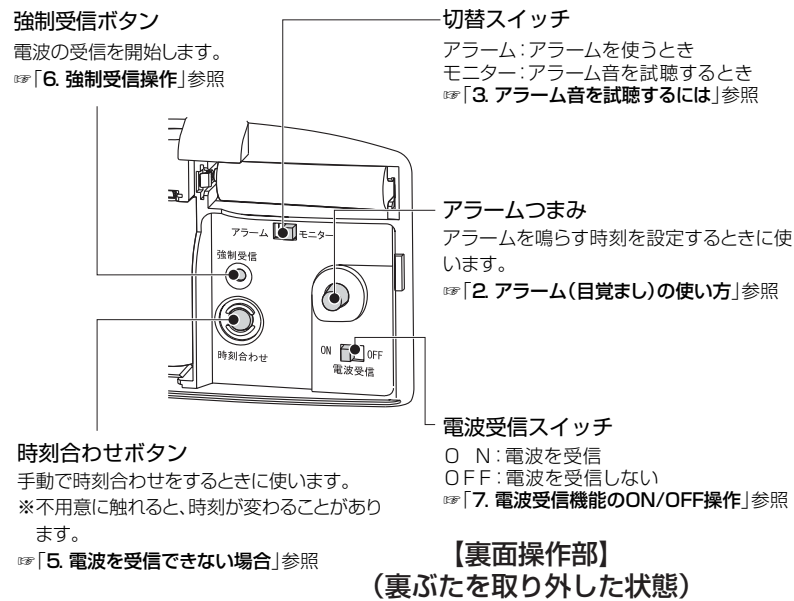
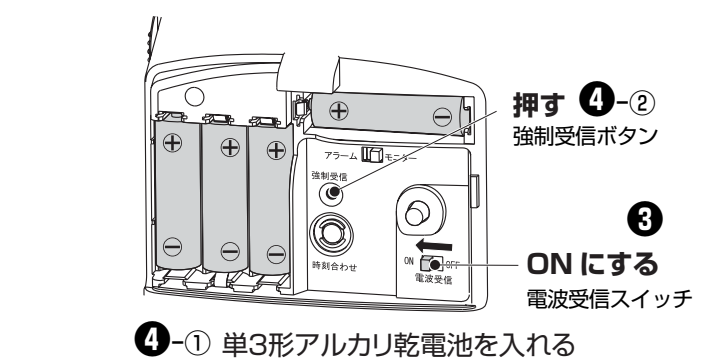
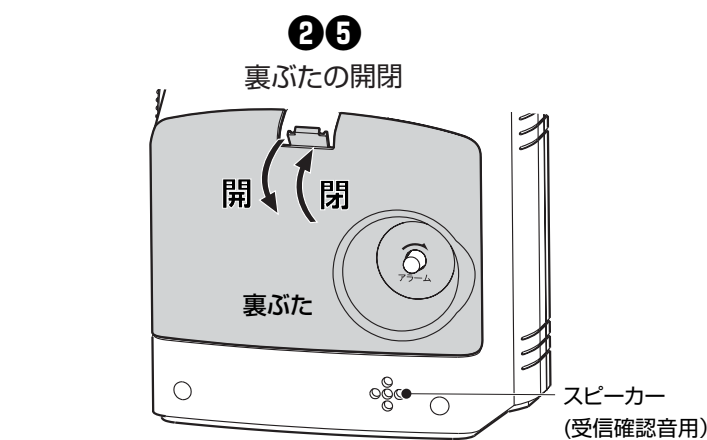
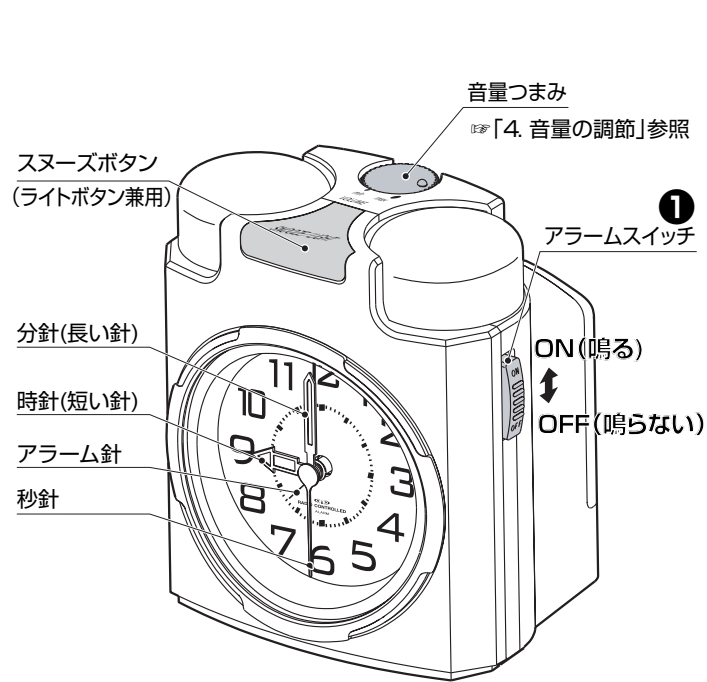
お問い合わせ先

■お客様相談室 **フリーダイヤル ☎0120-557-005**
受付時間 9:00~17:45
(土日、休日および当社休日除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

1. 電池の入れ方、時刻の合わせ方

●図は操作説明用ですので、実際の商品とデザインなどが異なる場合があります。



① アラームスイッチをOFFにする

アラームスイッチがONの位置にあると、電波受信の確認ができなくなったり、電波受信後、アラームが鳴ってしまうことがあります。

② 裏ぶたを取り外す

③ 電波受信スイッチをONにする

④ 電池を入れ、強制受信ボタンを押す

- ①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。
- ②先の細いボールペンなどで強制受信ボタンを押してください。
※電池を交換するときは、すべて指定の新しい電池に交換してください。

※電池を交換したときは、強制受信ボタンを押して再受信させてください。
※この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されています。松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの不具合が生じることがあります。

⑤ 裏ぶたを取り付ける

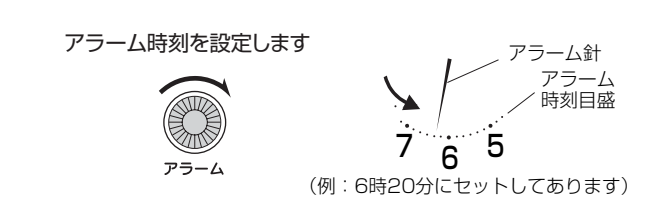
⑥ 受信を終了し、針が動き始めるまで待つ

- 2~15分後に受信が終了し、時針・分針・秒針が早送りで時刻を指します。
- 針は受信中止しています。
 - 受信中は、操作ボタンには触れないでください。

⑦ 受信結果を確認する

- スヌーズボタンを押します。
- 電波受信に成功した場合、「フ、フ、フ…ピ、ピ、ピ、ポーン」と確認音が鳴ります。確認音が鳴らない場合は、受信に失敗していますので、「5. 電波を受信できない場合」の項をご覧ください。
- アラームスイッチがONのときは確認音が鳴りません。
 - 受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
 - 受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

2. アラーム(目覚まし)の使い方



■アラーム時刻を設定するには

- アラームつまみを必ず矢印の方向に回し、アラーム針をアラーム時刻に合わせます。
- アラーム時刻は10分単位でセットできます。
 - アラーム針を逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。
 - 文字板のデザインにより、アラーム時刻目盛のないタイプもあります。

■設定時刻にアラームを鳴らすには

- 切替スイッチをアラーム、アラームスイッチをONにします。
- アラームスイッチがONのときは、秒針が12時位置に停止し、電波受信確認音は鳴らなくなります。(眠る秒針)

■アラームを止めるには

- アラームを止めるとき、または鳴らさないときはアラームスイッチをOFFにします。

アラームオートストップ機能

アラームが鳴っているのを放置すると、約5分後に自動的に止まります。アラームスイッチはONのままです。

スヌーズ機能(アラームを繰り返し鳴らす)

- アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音を一時的に停止します。
- この機能は、アラーム設定時刻から20~50分間繰り返し使えます。アラームを完全に止めるにはアラームスイッチをOFFにします。
- アラーム音を試聴しているときは無効です。

スヌーズボタンについて

スヌーズボタンには、スヌーズ機能のほか、つぎの機能があります。

文字板面照明機能

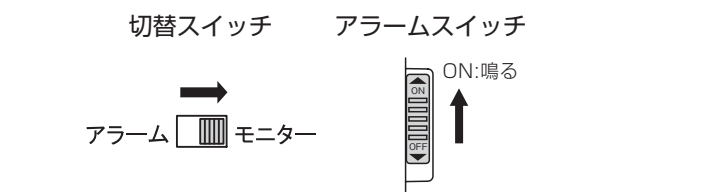
- ボタンを押している間およびボタンを離してから約3秒間文字板面を照明します。
- 電波の受信中は、照明を使用しないでください。使用した場合、電波の受信がしにくくなります。

電波受信確認音機能

- 24時間以内に電波の受信に成功しているときには、ボタンを押すと「フ、フ、フ…ピ、ピ、ピ、ポーン」と受信確認音が鳴ります。「ポーン」は0、10、20、30、40、50秒に鳴ります。
- スヌーズ状態のときは受信に成功していても受信確認音は鳴りません。
 - アラームスイッチが「ON」のときは鳴りません。

3. アラーム音を試聴するには

- ①切替スイッチを「モニター」側にします。
- ②アラームスイッチをONにするとアラームが鳴ります。OFFにするると止まります。
- ③試聴後は切替スイッチを「アラーム」側にしてください。



- 電波受信中は使用できません。

アラームつまみを回してアラーム音を確認する方法

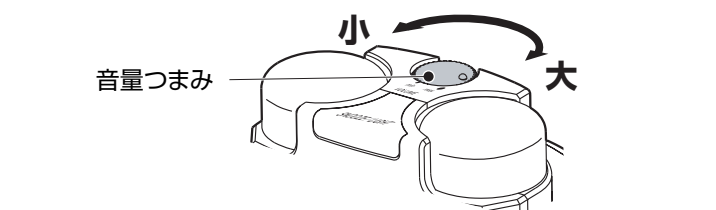
- アラームつまみを回してアラーム音を確認するには、次のいずれかの方法があります。
- ①アラームスイッチをOFFにし、アラームつまみを回して、アラーム針を時計が指している時刻に合せ、アラームスイッチをONにしてください。
※アラームスイッチがONの状態、アラームつまみを回して時計が指している時刻に合せた場合は鳴りません。この場合、一度アラームスイッチをOFFにし、その後ONにしてください。
 - ②アラームスイッチをONにし、アラーム時刻を時計が指している時刻より約20分程度進んだ時刻に合せれば、その時刻に鳴ります。

アラームご使用上の注意

- アラームスイッチをONにしたままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。
- アラームを長期間使用しませんと、アラーム音(ベル)の鳴りが悪くなる場合がありますので、2~3ヵ月に1回、約1分ぐらい鳴らすことをおすすめします。

4. 音量の調節

音量つまみを回すとベルの音量が変化します。アラームを使用するときには、事前にアラーム音を試聴して音量を調節してください。



5. 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置きます。次に、強制受信ボタンを押して、2~15分間そのまま待ちます。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

■手動での時刻の合せ方

- 時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。
- 電波受信スイッチがONのときは、手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。
- 時刻合わせボタンを押すと、時・分針の修正モードに入り、時針・分針・秒針が動き始めます。
- 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。この時、秒針は12時位置になると停止し、時針と分針は動き続けます。
 - ③ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。
- 秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。このとき秒針が12時位置に止まっていない場合は、秒針を早送りして現在時刻の秒位置に移動します。

6. 強制受信操作

電池を入れた直後、設置場所を変えた、または誤作動をしたときに強制受信ボタンを先の細いボールペンなどで押してください。電波の受信を開始します。

7. 電波受信機能のON/OFF操作

- 電波受信スイッチをOFFにしますと、電波の受信を行わないで、クォーツ精度で時刻を表示します。受信できない、誤受信しやすい場所で使用する、意図的に表示時刻を変えてお使いになる場合などのときにはOFFにします。
- 受信に成功した状態で電波受信スイッチをOFFにすると、24時間以内は、受信確認をすると受信成功を意味する電子音が鳴ることがあります。
 - OFFのときもONのときと同様に、電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときに、時分針および秒針が停止または早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。